

小中高生に 届けたい、 繁殖生物学 オタクが 今夢中 になっていること

第114回日本繁殖生物学会大会
市民公開講座

- ・参加無料／登録不要！
- ・YouTubeライブで配信！
- ・コロナの状況により現地でも視聴OK！

2021 **9/23(祝日!)**

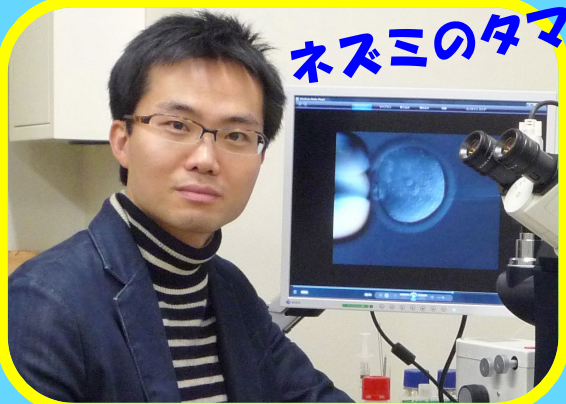
13:00 ~ 15:00

現地：京大農学部W100教室

Web：YouTubeライブ

以下のリンクまたはQRコードから

YouTubeへ！
クリック！



塚本智史さん
(量子科学技術研究開発機構)



真方文絵さん (東京大学)



磯谷綾子さん
(奈良先端科学技術大学院大学)



小林久人さん (奈良県立医科大学)

司会：池田俊太郎 (京都大学) 奥山みなみ (大分大学)

主催：公益社団法人日本繁殖生物学会 お問い合わせ：第114回日本繁殖生物学会大会事務局

京都大学大学院農学研究科生殖生物学研究室

電話：075-753-6059

e-mail：srd114@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

(裏面のお知らせもご覧ください)



科研費
KAKENHI

第114回日本繁殖生物学会大会市民公開講座にぜひおいでください！

「小中高生に届けたい、
繁殖生物学オタクが今夢中になっていること」

小中高生の皆さん、^{はんしよく}「繁殖生物学（ハンショクセイブツガク）」って聞いたことがありますか？

地球上にいる全ての生物が何十億年もの間生命をつないできた、そのために欠かせないしくみのひとつが^{はんしよく}「繁殖」です。私たち哺乳動物では、^{ほにゆう}卵と^{らん}精子がひとつになって^{せいし}受精卵ができ、とてもとても小さな^{じゅせいらん}受精卵が^{さいぼうぶんれつ}どんどん細胞分裂して私たちの体が作られ、そして再び^{らん}卵や^{せいし}精子が作られる、この「繁殖」の^{はんしよく}しくみを使って次の世代に命をつないでいます。

「繁殖生物学」は、この「生命の連続性」を可能にするしくみに関するあらゆることを研究する学問です。多くの人がワクワクしながら、自分の好きなことに夢中になれる“オタク”になって日々研究に取り組んでいます。体のどんな細胞にもなれる^{さいぼう}受精卵に魅了されてしまった研究者もいます。^{はんしよく}「繁殖」の研究を私たちの食卓を支える肉やミルクの生産に活かそうという^{じゅうい}獣医さんもあります。ゲノム？キメラ？そんなマンガの世界のようなキーワードも出てきます。

今回の市民公開講座では、繁殖生物学オタクのワクワクを感じてもらい、皆さんのワクワクを探すヒントにしてもらえたらうれしいです。もちろん小中高校生以外の方も大歓迎です！

^{じょうきよう}コロナの状況によっては現地会場での参加も可能です（人数制限やサブ会場への移動をさせていただくことがあります）。

現地参加ができるかどうかについては大会HPの最新情報をごらんください。

大会HP：<https://www.knt-ks.co.jp/ec/2021/114srd/>
YouTube：<https://www.youtube.com/channel/UC4OUIMa2Eo1jhhEk4o3-cKg>

会場へのアクセスマップ

